

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 15 日 (2012.3.15)

【公開番号】特開 2011-135424 (P2011-135424A)

【公開日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報 2011-027

【出願番号】特願 2009-294152 (P2009-294152)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/40 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 6 T 11/60 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/391 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/40 Z

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 11/60 1 0 0 B

G 0 6 T 1/00 5 0 0 A

G 0 9 G 5/00 5 5 5 D

G 0 9 G 5/00 5 1 0 V

G 0 9 G 5/00 5 5 0 H

G 0 9 G 5/00 5 2 0 V

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 26 日 (2012.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記目的を達成するため、本発明の第一の観点に係る画像処理装置は、
画像データを絵画等のアート風な画像に変換するアート変換手段を備えた画像処理装置
 において、

前記アート変換手段は、
所定の基準を満足する高精細用アート変換手法によるアート変換を行う第 1 の変換手段
 と、

前記所定の基準を満足しない低精細用アート変換手法によるアート変換を行う第 2 の変換手段と、を含み、

前記アート変換手段により変換された画像を出力する出力先を特定する出力先特定手段と、

前記出力先特定手段が特定した前記出力先に応じて、前記アート変換手段として前記第 1 の変換手段と前記第 2 の変換手段のいずれかを選択する選択手段と、を備えた、
 ことを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記目的を達成するため、本発明の第二の観点に係る画像処理プログラムは、
画像データを絵画等のアート風な画像に変換するアート変換手段を備えた画像処理装置
のコンピュータを、
所定の基準を満足する高精細用アート変換手法によるアート変換を行う第１の変換手段
、
前記所定の基準を満足しない低精細用アート変換手法によるアート変換を行う第２の変
換手段、
前記アート変換手段により変換された画像を出力する出力先を特定する出力先特定手段
、
前記出力先特定手段が特定した前記出力先に応じて、前記アート変換手段として前記第
１の変換手段と前記第２の変換手段のいずれかを選択する選択手段、として機能させる、
ことを特徴としている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

画像データを絵画等のアート風な画像に変換するアート変換手段を備えた画像処理装置
において、
前記アート変換手段は、
所定の基準を満足する高精細用アート変換手法によるアート変換を行う第１の変換手段
と、
前記所定の基準を満足しない低精細用アート変換手法によるアート変換を行う第２の変
換手段と、を含み、
前記アート変換手段により変換された画像を出力する出力先を特定する出力先特定手段
と、
前記出力先特定手段が特定した前記出力先に応じて、前記アート変換手段として前記第
１の変換手段と前記第２の変換手段のいずれかを選択する選択手段と、を備えた、
ことを特徴とする画像処理装置。

【請求項２】

画像データを絵画等のアート風な画像に変換するアート変換手段を備えた画像処理装置
のコンピュータを、
所定の基準を満足する高精細用アート変換手法によるアート変換を行う第１の変換手段
、
前記所定の基準を満足しない低精細用アート変換手法によるアート変換を行う第２の変
換手段、
前記アート変換手段により変換された画像を出力する出力先を特定する出力先特定手段
、
前記出力先特定手段が特定した前記出力先に応じて、前記アート変換手段として前記第
１の変換手段と前記第２の変換手段のいずれかを選択する選択手段、として機能させる、
ことを特徴とする画像処理プログラム。